

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
幼児理解・教育相談	2	前期	講義	2	森吉 里奈

○ 授業の到達目標

1. こども理解のためのアセスメント方法や見立てについて知る。
2. 教育相談の諸技法について知り、カウンセリングマインドの姿勢と技能を身につける。
3. 共に子どもを見守り育てていくものとしての保護者理解と内外資源の活用について理解する。

○ 授業の概要

- ・保育者・教師の行うアセスメントや教育相談の役割と特徴を理解し、教育相談の基礎にある理論を学ぶ。
- ・幼児期の子どもとその家庭に関する臨床的問題の実際、及び現代の保育・教育現場における諸問題を理解する。
- ・多様な保護者、様々な困難を抱える子どもの理解の仕方・つながり方の原則を理解し、内外の資源と連携しながら支援するための知識と技能を習得する。最後3回はテキストをまとめ提出する。

※本授業は、准学校心理士取得に関わる科目である。

○ 授業計画

第1回 保育・教育における教育相談の意義

【事前学修】 シラバスを見て、授業の概要等を確認する。キーワード：教育相談の意義

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第2回 アセスメントに関する基礎的理解① 生理心理社会モデル

【事前学修】 本時の調べ学習をする。キーワード：生理心理社会モデル、気質、観察・記録

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第3回 アセスメントに関する基礎的理解② 発達検査

【事前学修】 本時の調べ学習をする。キーワード：発達検査、ワーキングメモリ、情報処理モデル

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第4回 保幼小連携の接続期支援と子どもの理解

【事前学修】 本時の調べ学習をする。キーワード：接続期、要録、就学支援シート

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第5回 カウンセリングの基礎理論

【事前学修】 本時の調べ学習をする。キーワード：力動論、来談者中心療法、遊戯療法、認知行動療法

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第6回 カウンセリングの実際

【事前学修】 本時の調べ学習をする。キーワード：カウンセリングの進め方

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第7回 相談のプロセスとコンサルテーション・コーディネーション

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：予防・早期発見・介入、チーム援助

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第8回 保育の場の保護者相談と園内体制・地域での連携

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：子育て支援、教育相談体制、関係機関と連携

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第9回 開発的・予防的カウンセリングの理解と方法① ストレスマネジメント等

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：SST、ストレスマネジメント

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第10回 開発的・予防的カウンセリングの理解と方法② SOSの出し方教育等

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：SOSの出し方教育、生命(いのち)の安全教育

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第11回 多様なニーズのある子どもの教育相談と支援体制

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：就学相談、巡回相談、特別支援教育支援員

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第12回 集団への不適応

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：集団作り、学級経営、不登校、いじめ、危機管理

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第13回 「愛着とトラウマの問題」を抱える子どもの気づきと関わり① 愛着とトラウマの課題を持つとは

【事前学修】本時の調べ学習・発表準備をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第14回 「愛着とトラウマの問題」を抱える子どもの気づきと関わり② 虐待的養育を受けた子どもの特徴

【事前学修】本時の調べ学習・発表準備をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第15回 「愛着とトラウマの問題」を抱える子どもの気づきと関わり③ 介入時(興奮・不穏)の配慮の要点

【事前学修】本時の調べ学習・発表準備をする。

【事後学修】定期試験に向けて、これまで学んだ内容を見直す。

○ 教員の実務経験と授業の関連

心理職(臨床心理士・公認心理師・学校心理士・特別支援教育士)として、発達相談・就学相談・アセスメントやカウンセリング、心理教育に携わってきた。その経験を活かしながら授業を展開実施する。

○ テキスト

「興奮しやすい子どもには愛着とトラウマの問題があるのかもー教育・保育・福祉の現場での対応と理解のヒントー」 西田泰子・中垣真通・市原真記 著. 遠見書房

○ 参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省. フレーベル館

「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省. フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館

○ 学生に対する評価

定期試験70% レスポンスシート・受講態度・提出物30%